

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① ボランティア活動の啓発・普及・育成活動

1. One Earth Projectへの協力

Earth Light Projectで撮影した「炎越しの地球」の映像を「オリンピック難民選手団を応援する公式チーム発足のためのPV」として利用するプロジェクトへ提供。当事業へ、NPO法人おりがみの会員が協力。2025年3月5日～12日にパリへ渡航し、パリ国際大学都市日本館にて国際ワークショップを開催。日本からの参加者20名、パリ現地参加者20名で実施。

2. 千葉県内の環境団体ネットワーク構築事業の企画・進行

2023年度から継続して、特定非営利活動法人環境パートナーシップちばから「若者が主役の環境保全活動応援事業」の企画・進行管理に関する業務を受託した。

a. 企画コンペの運営協力

20代までの若者が主体となって構成する団体・グループから、千葉県の環境課題解決に向けた企画を募集し、企画コンテストのサポートを行った。応募方法や審査方法を検討し、コンテスト当日の運営、会場設営、司会、審査補助を行った。

b. 事業の周知・広報の実施

課題の把握やコンテスト参加者の募集などにあたり、配布用チラシを作成した。Instagram、X(旧: Twitter)のツールにより、周知・広報を行った。

c. スタディツアーの企画協力

アイデアコンテストの応募を検討している若者に対して、地域の課題解決に取り組む企業や団体から環境問題について体験的に学習し、アイデアコンテストの募集を促す機会を提供した。

3. EXPO2025関東ユースパビリオンの企画・進行

2024年度も継続して、大阪・関西万博の共創パートナーとして、関東にも万博をきっかけとしたムーブメントを起こすことに熱意のある若者を集めるプロジェクトの企画・運営を行った。

4. 学生団体おりがみを中心とした若手ボランティア団体の支援事業

2024年度も引き続き、学生団体おりがみや全国学生ボランティアフォーラムを中心とした若手ボランティア団体の支援を行った。

a. 学生団体おりがみの伴走支援

ボランティアにただ参加するだけでなく、興味と意志をもって参画するボランティアを「創るボランティア」と呼び、創るボランティアの普及・啓発を図る学生団体おりがみの伴走を行った。学生団体おりがみの代表や役員メンバーとの定期的な会合や、NPO法人と学生団体のコラボレーション事業などを生み出した。

b. 全国学生ボランティアフォーラムの伴走支援およびその運営団体の進行管理

全国のボランティアに関心のある学生が一堂に会して、合宿研修プログラムを通してボランティアや社会課題に対する想いややりたいことなどと徹底的に向き合う全国学生ボランティアフォーラムの事務局業務を行った。「つくるフォーラム」「参加から参画へ」などを合言葉に、有志の学生で実行委員会をつくり、本番の半年前から月に1回程度合宿会議を行い、全国の学生にどのようなものを届けたいかを学生自らが考えてイベントにする。学生委員の活動の進捗管理やモチベーション管理などを行った。

②地域活性化プログラムの創出・継続

5. 上野ハレノヒ計画の企画・進行

2024年度も引き続き、上野の地域活動と、イベントへの若者参画のコーディネートを行う「上野ハレノヒ計画」の運営を行った。地域活動では、上野中通り商店街を中心とした上野の魅力や課題の調査・SNS発信などを行い、イベントへの若者参画のコーディネートでは、上野で行われる様々なイベントの運営ボランティアに定期的・継続的に参加した。

a. 上野倶楽部の運営・マネジメント

上野地域の魅力や課題に関するブログやSNS発信、上野にゆかりや愛着のある人が交流できるコミュニティづくりを主な活動とする「上野倶楽部」の運営マネジメントを上野中通商店街振興組合と協働で行った。

b. イベントの主催・運営ボランティア

2024うえの夏まつりや、ゐの市をはじめ、多様な地域活動への若者の参画をコーディネートした。

③障害のある方などの雇用・交流機会活性化事業

6. パラ旅応援団の主催・運営業務

2022年度千葉県から進行管理に関する業務を受託した「パラ『旅』応援事業」をもとに、2024年度も継続して、民間事業「パラ旅応援団」を主催・実施した。障害のある方と若者が「支援関係」ではなく「仲間」として交流を深めながらパラスポーツ観戦や観光を楽しめる企画となった。

a. Asia Triathlon Para Cup Chibaおよび千葉シティトライアスロン観戦イベント

稲毛海浜公園で開催された「Asia Triathlon Para Cup Chibaおよび千葉シティトライアスロン大会」の観戦と稲毛海浜公園の観光を行った。医療的ケアの方や精神・知的・身体など、個性豊かな障害のある方々34名や学生ボランティア71名など、合計208名程度の関係者で大会を応援して盛り上げる大規模ユニバーサル観光事業となった。

b. ぷちパラ旅の開催

千葉シティトライアスロンで出会った障害のある方と学生ボランティアが、小規模な人数での観光を通して「再会」する事業。2024年度は、千葉市動物公園(千葉市)・キラキラ橋商店街(墨田区)で開催し、障害のある方々9名や学生ボランティア20名など合計74名程度にユニバーサルツーリズムの機会を届けた。

7. 休日駄菓子屋の運営業務

2024年度も引き続き、障がい者が従事する駄菓子屋を使って子どもの居場所づくりや地域活性化イベントの企画・立案業務を行った。「駄菓子屋の休業日、土曜日でも地域住民の居場所として地域に開放したい」というニーズから、大学生が土曜日に駄菓子屋を運営。地域住民との対話や子どもとの交流により、地域の居場所づくりに取り組んだ。

8. 社会参加が困難な方と大学生が、地域イベントにブース出展する事業の運営業務

2024年度も引き続き、子どもを対象とする地域スポーツイベント等に障がい者の活躍する駄菓子屋「出張駄菓子屋」の出展を以下のイベントに対して行った。

参画イベント

9/28 第24回アミザーデサッカー大会

9/14 福祉ライブカフェ2024

12/21 マナフェス2024

9. 小児がん経験児および闘病中の子どもたちとの交流事業企画運営業務

2024年度より新規に、学生団体おりがみと連携をし、小児がんの子どもたちと大学生の交流

事業「きぼうのたねプロジェクト」の企画運営を行った。

参画イベント

7月14日 ちばこどもホスピス夏まつり2024の協力

8月10日 室内運動会の主催

④社会貢献活動に取り組む人々のコミュニティスペース運営事業

10. 上野創発拠点の設立準備

上野中通商店街振興組合と連携し、2024年度から、台東区上野の創発拠点の運營業務を行った。

⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業

11. 一般社団法人日本文化教育推進機構のコンサルティング及び事務局業務

特定非営利活動に係る事業を通して形成されたネットワークやスキルを活用し、教育プログラムの学校展開やポータルサイトの開発に取り組んだ。

12. NPO法人生きテクの事務局業務

特定非営利活動に係る事業で培ったスキルを活用し、「東京都地域自殺対策強化補助事業」の一環で実施した「生きテクフォーラム」の運営と、自殺未遂者の一次体験情報を記事化するプロジェクトの事務局業務・記事執筆などを行った。

13. ボランティアマネジメントのコンサルティング

特定非営利活動に係る事業で培ったスキルを活用し、アビームコンサルティングの業務において、大学生のコミュニティ運営事業のコンサルティングを行った。

(2) その他の事業

① 飲食物販売事業

今年度は実施していない。

② 物品、権利、役務及びその他の当該消費者契約の目的となる事業

今年度は実施していない。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
① ボランティア活動の啓発・普及・育成活動	1. One Earth Project への協力	通年	パリ国際大学都市日本館	3人	日本人参加者約20名、パリ現地参加者約20名
	2. 千葉県内の環境団体ネットワーク構築事業の企画・進行	通年	千葉市	50人	千葉県近郊の環境団体15団体に属する100人

	3.EXPO2025関東ユースパビリオンの企画・進行	通年	オンライン	6人	関東近郊を中心とする約50人
	4.学生団体おりがみを中心とした若手ボランティア団体の支援事業	随時	オンライン及び東京・千葉県を中心とする首都圏	30人	学生団体おりがみをはじめとした2団体延べ500人
	4-a.学生団体おりがみの伴走支援	随時	オンライン及び東京・千葉県を中心とする首都圏	10人	学生団体おりがみに所属する481人
	4-b.全国学生ボランティアフォーラムの伴走支援およびその運営団体の進行管理	随時	全国	20人	全国学生ボランティアフォーラムの企画運営を行う24名および参加者約100人程度
②地域活性化プログラムの創出・継続	5.上野ハレノヒ計画の企画・進行	通年	上野	109人	上野商店街含め全域の約110店舗
	5-a.上野倶楽部の運営・マネジメント(上野ハレノヒ計画)	通年	上野中通り商店街、オンライン	49人	上野商店街の約110店舗
	5-b.イベントの運営ボランティア(上野ハレノヒ計画)	随時	主に、上野恩賜公園、水上音楽堂、東京都美術館	60人	イベント運営・参加者約5万人
③障がい者の雇用・交流機会活性化事業	6.パラ旅応援団の主催・運営業務	通年	千葉市、習志野市など	64人	障害のある方の孤独解消や社会参加促進に関心を持つ学生ボランティア64人
	6-a.Asia Triathlon Para Cup Chibaおよび千葉シテイトライアスロン大会の観戦イベント	10月19日	稲毛海浜公園	34人	千葉県在住・在学・在勤の障害のある方34人、学生ボランティア71人、ヘルパー24人、その他関係者
	6-b.ぷちパラ旅の企画・運営	1月18日 3月11日	千葉市動物公園・キラキラ橋商店街	32人	障害のある方9人、学生ボランティア20人、ヘルパー7人、その他関係者
	7.休日駄菓子屋の運営業務	毎月偶数週の日曜日	駄菓子屋ITSUMO	30人	都賀地域周辺の小学生及び住民延べ300人、千葉県近郊の障がい者10名

	8.社会参加が困難な方と大学生が地域イベントにブース出展する事業の運営業務	随時	千葉県	5人	各イベントに参加する子ども、障がい者など延べ1500人
	9.小児がん経験児および闘病中の子どもたちとの交流事業の運営業務	随時	千葉県	13人	小児がんの子どもたち24名、彼らの支援に関心のある学生16名
④社会貢献活動に取り組む人々のコミュニティスペース運営事業	10.台東区上野の創発拠点の運営事業(準備)	随時	東京都台東区	15人	上野中通商店街に関わりのある地域の方・学生30名
⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業	11.一般社団法人日本文化教育推進機構のコンサルティング及び事務局業務	通年	オンライン	3人	一般社団法人日本文化教育推進機構の社員および全国の小中学校
	12.NPO法人生きテクの事務局業務	通年	東京都新宿区	2人	NPO法人生きテクの社員および東京都民を中心とする不特定多数
	13.ボランティアマネジメントのコンサルティング及び事務局業務	通年	東京都千代田区	5人	アビームコンサルティングの社員および東京都近郊の大学生

(2)その他の事業(定款に「その他の事業」として定めている場合のみ)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
①飲食物販売事業	今年度は実施なし	—	—	—
②物品、権利、役務及びその他の当該消費者契約の目的となる事業	今年度は実施なし	—	—	—
	今年度は実施なし	—	—	—